


| | | | | |
|--------|--------------------------------|-----------|------------|---|
| 【件名】 | 梅ヶ谷トンネル整備工事に伴う道路改修工事（西一梅ヶ谷の6） | 【事務所名】 | 西多摩建設事務所 |  |
| 【工事場所】 | 東京都西多摩郡日の出町大久野地内から青梅市梅郷一丁目地内まで | 【受注者名】 | 株式会社瀧澤建設 | |
| 【工期】 | 令和5年3月28日から令和6年3月21日まで | 【主たる技術者名】 | 監理技術者 中村明博 | |

【工事概要】

工事延長 (L) = 1,500m (トンネル延長1,333m) 幅員 (W) = 10.2m
 車道舗装 (55型) 1374㎡ (オーバーレイ) 4492㎡
 歩道舗装 (19型) 4861㎡、防護柵工 1,320m
 道路照明工 11基、大型標識工 10基
 機器収容局舎 (電気室) 1基、補償代行工事 3件

【表彰理由】

本工事は、令和6年3月開通に向け、街築、舗装、交通安全施設等を工期内に整備することが必須であった。
 現場代理人及び監理技術者は、関連する3件の工事と主体的に工程調整を行うとともに、高い技術力を発揮し、多くの課題の解決策を積極的に提案するなど、的確、迅速に処理し、創意工夫と熱意が感じられた。また、会社も一丸となり安全管理、施工管理が行われ、無事故で工事完成した。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

3社による重複施工となっており、工事を進める上で各社の工程調整が必要となりました。又、警察標識の設置に伴い、当社施工の大型標識の位置や構造の変更、開通前に消防訓練を実施したいとの要望があり、工程調整に苦労しました。

◇ 特に工夫した点

月に1回3社及び発注者との工程調整会議を実施し、クリティカルとなる工程の調整を行いました。又、日々各社の作業内容や作業場所、通行ルートを把握し、事故防止に努めました。大型標識は、警察標識を踏まえた位置や構造の提案を行い、当初工期通り開通させる事ができました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

今回の工事は長年にわたるトンネル整備工事となっており、その最終となる開通を迎えられ、開通した際の近隣住民からの喜びの声や笑顔を見ることができたときには、すごく達成感を得ることができました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業はインフラ等の整備が多く、すごく責任が生じる大変な仕事となっています。その為、大変苦労することもあります。その分完成したときの達成感や感動は大きなものとなりますので、一緒に頑張りましょう。



工程調整等実施内容